

精神障害者の社会生活支援に関する基礎的研究

築瀬, 誠

<https://doi.org/10.11501/3181881>

出版情報：九州芸術工科大学, 2000, 博士（芸術工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：

文 献

- Angermeyer, M. C., Kyuhn, L., Goldstein, J. M., 1990: Gender and the course of schizophrenia: differences in treated outcome. *Schizophr. Bull.*, 16:293-307.
- 安斎三郎, 安斎道枝, 阿部真也, 前島久美子, 岩渕美代子, 金井匡子, 今井法子, 1984: 精神疾患における疾病と障害－精神科リハビリテーションの理解のために－. *精神経誌*, 34:89-96.
- 荒井元傳, 1993: 精神障害者の作業所の課題と今後の在り方を考える. *ぜんかれん増刊レビュー*, No. 28:38-42.
- Ciompi, L., 1980: Catamnestic long-term study on the course of life and aging of schizophrenics. *Schizophr. Bull.*, 6:606-618.
- Davis, J. M., 1975: Overview: maintenance therapy in psychiatry, I : schizophrenia. *Am. J. Psychiatry*, 132:1237-1245.
- 江畠敬介, 1995: 近年の精神分裂病の理解の変遷. 江畠敬介, 浅井邦彦編: 分裂病の病院リハビリテーション. 医学書院.
- Engelhardt, D. M., Rosen, B., Feldman, J., Engelhardt, J. A., Cohen, P., 1982: 15-year follow-up 646 schizophrenic outpatients. *Schizophr. Bull.*, 8:493-503.
- 藤井克徳, 1998: 精神障害者共同作業所の現状. *作業療法ジャーナル*, 23:21-28.
- 藤井克徳, 1990: 共同作業所の現状と課題－その理念と機能, 活動内容を中心にして－. 精神科MOOK No. 26. 金原出版.

- 蜂矢英彦, 1981: 精神障害論試論－精神科リハビリテーションの現場からの
一提言－. 臨床精神医学, 10:1653-1661.
- Harding, C.M., Books, G.W., Ashikaga, T., Strauss, J.S., Breier, A., 1987: The
Vermont longitudinal study of persons with severe mental illness,
I : Methodology, study sample, and overall status 32 years later.
Am. J. Psychiatry, 144:718-726.
- Hass, G.L., Glick, I.D., Clarkin, J.F., Spencer, J.H., Lewis, A.B., 1990
:Gender and schizophrenia outcome:a clinical trial of inpatient
family intervention. Schizophr. Bull., 16:277-292.
- 畠田源四郎, 1989: 分裂病者の行動特性. 金剛出版.
- Huber, G., Gross, G., Schuttler, R., 1975: A longterm follow-up study
of schizophrenia: Psychiatric course of illness and prognosis. Act.
Psychiatr. Scand., 52:49-57, 1975.
- 一宮祐子, 石川一郎, 小林節夫, 加藤 健, 桜井信幸, 1986: 精神分裂病の
転機－定型分裂病129例の20年以上の継続観察－. 精神経誌, 88:206-234.
- 猪俣好正, 1993: 共同作業所と授産施設. 臨床精神医学, 22:53-59.
- 稻永和豊, 1984: 精神分裂病. 新福尚武編: 精神医学大辞典. 講談社.
- 逸見嘉之介, 西園昌久, 1998: 分裂病の再発における早期兆候－再発予防の
指標として－. 最新精神医学, 1:25-31.
- 岩波 明, 安西信雄, 原田誠一, 金生由紀子, 中込和幸, 横田圭司, 熊谷直
樹, 佐々木 司, 式場典子, 宮内 勝, 1988: 作業能力の低下した精神分裂
病患者の社会復帰の実態とその治療技法. 精神医学, 30:1133-1140.
- 角谷慶子, 1995a: 精神障害者におけるQOL測定の試み－満足度スケールの
開発－. 京府医大誌, 104:1413-1424.

- 角谷慶子, 1995b: 精神障害者のQOLの特徴とりハビリテーションプログラムによる治療介入後の変化. 京府医大誌, 104:1425-1434.
- Kane, J.M., 1990: Treatment program and long-term outcome in chronic schizophrenia. Act. Psychiatr. Scand. (Suppl), 258:151-157.
- 金子鮎子, 1999: 就労に対する雇用主の声ー精神障害者を職場に受け入れた経験よりー. 精神科看護, 26:23-27.
- 笠原 嘉, 1983: 初老期に入った分裂病者について. 村上靖彦編: 分裂病の精神病理13. 東大出版会.
- 加藤友之, 田島 昭, 湯浅修一, 江熊要一, 1966: 精神分裂病者の社会生活における特性ー精神分裂病の生活臨床 第1報ー: 精神経誌, 68:1076-1088.
- 木村 敏, 1977: 分裂病の時間論. 笠原嘉偏: 分裂病の精神病理 5. 東京大学出版会.
- 近藤房恵, 1998: 地域で生活している分裂病疾患を持つ人々の日常生活. 心の看護学, 2:107-112.
- 厚生省大臣官房精神保健福祉部精神保健福祉課監修 (厚生省), 1998: 我国の精神保健福祉 平成10年度版, 厚健出版.
- 工藤佳子, 工藤正春, 福田千佳, 柴田 薫, 蟻塚亮二, 1995: 外来通院中の精神分裂病患者の生活状況調査. 作業療法ジャーナル, 29:229-234.
- 黒田研二, 山下俊幸, 平野 瓦, 上野光歩, 吉住 昭, 猪俣好正, 小峯和茂, 1994: 外来受診中の精神分裂病患者のリハビリテーション・ニーズに関する全国調査. 精神経誌, 96:70-75.
- 丸山 晋, 杉山圭子, 1997: 精神障害者のリハビリテーションに関するニーズ調査の分析. 精神保健研究, 43:12-26.
- 松本雅彦, 1994: 精神分裂病における「初老期軽快」の評価と検討. 精神経誌, 96:861-869.

- 宮 真人, 渡合明夫, 小川一夫, 中沢正夫, 1984: 精神分裂病者の長期社会適応経過（精神分裂病の長期経過研究第一報）. 精神経誌, 86:736-767.
- 宮崎隆吉, 三田達雄, 山口直彦, 1986: 通院分裂病者の週間生活リズム. 精神科治療学, 1:107-116.
- 村田信男, 1982: 「分裂病のリハビリテーション過程」についてー障害相互受容のプロセスを中心にー. 吉松和哉編: 分裂病の精神病理11. 東京大学出版会.
- 内藤 清, 1998: 疾病の経過, ライフサイクルと精神科リハビリテーション. 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編: 精神科リハビリテーション学. ヘルス出版.
- 中島公博, 田中稜一, 中村 潔, 林 裕, 小片 基, 1997: ノーマライゼーションの観点からみた慢性分裂病患者の地域での住まい方. 臨床精神医学, 26:1337-1344.
- 緒方 明, 坂本眞一, 葉山清昭, 多賀浩一, 川上 恵, 藤本敏雄, 1996: 精神分裂病の再発についての検討ー陽性症状と非精神病症状を指標としてー. 精神医学, 38:259-265.
- 大島 巍, 猪俣好正, 樋口精一, 吉住 昭, 稲地聖一, 丸山 晋, 1991: 長期入院精神障害者の退院可能性と退院に必要な社会資源およびその数の推計ー全国の精神科医療施設4万床を対象とした調査からー. 精神経誌, 93:582-602.
- 大島 巍, 河野恭子, 1989: 精神障害者の価値意識と彼らの自己実現を妨げるもののー全国精神障害者福祉ニーズ調査の自由回答項目の分類と分析. 精神保健研究, 35:149-163.

- 大島 巍, 内藤 清, 徳永純三郎, 1998: 神奈川県川崎市における単身分裂病者の生活実態と福祉ニーズー市内全精神科医療機関を対象とした調査からー. 病院・地域精神医学, 41:50-56.
- 大島 巍, 内藤 清, 徳永純三郎, 栗田正文, 1997: 神奈川県川崎市における精神障害者の保健福祉ニードと必要社会資源数の推計値からみた今後の課題ー政令指定都市におけるニード把握と精神障害者保健福祉計画ー. 日社精医誌, 5:201-213.
- Parsons, T., 1975: The sick role and the role of the physician reconsidered. Milbank Memorial Fund Quarterly (Health and Society), 53:257-278.
- 坂口信貴, 1990: 地域の立場から見た精神分裂病者の就労問題. 作業療法ジャーナル, 24:175-177.
- Salokangas, R.K., Stengard, E., 1990: Gender and short-term outcome in schizophrenia. Schizophr. Res., 3:333-345.
- Seeman, M.V., 1983: Schizophrenic men and women require different treatment programs. Journal of Psychiatric Treatment and Evaluation, 1:143-148.
- 茂田 優, 1989: 長期入院患者の社会資源に関するニーズ調査ー本院の場合ー. 精神医学研究所業績集第26輯:149-154.
- 総理府男女共同参画室（総理府）, 1997: 女性の現状と施策. 新国内行動に関する報告書.
- Spivack, G., Siegel, J., Garrett, L., 1982: The long-term patients in the community, life style patterns and treatment implications. Hospital & Community, 33:291-295.
- 菅 民郎, 1993: 実践多変量解析 上巻. 社会情報サービス.

- 砂原茂一, 1980: リハビリテーション. 岩波書店.
- 竹島 正, 武田廣一, 田所淳子, 橋詰 宏, 小寺良成, 吉川武彦, 1993: 地方
県における精神保健通院患者リハビリテーション事業の状況. 精神保健研
究, 39:115-126.
- Test, M. A., Berlin, S., 1981: Issues of special concern to chronically
mentally ill woman. Professional Psychology, 12:136-145.
- Test, M. A., Buke, S. S., Wallish, L. S., 1990: Gender differences of young
adults with schizophrenic disorders in community care. Schizophr.
Bull., 16:331-144, 1990.
- 渡嘉敷暁, 1993: 精神障害通院患者リハビリテーション事業のあり方に関する
研究. 平成3年度厚生科学研究.
- 渡嘉敷暁, 1994: 精神障害通院患者リハビリテーション・就労援助のあり方
に関する研究－通りハ事業援助マニュアル-. 平成4年度厚生科学研究.
- 渡嘉敷暁, 1996: 精神保健における就労援助に関する研究. 平成6年度厚生
科学研究.
- 宇野昌人, 1971: 精神分裂病の長期経過に関する研究. 精神経誌, 73:
183-220.
- 臺 弘, 1979: 履歴現象と機能切断症候群. 精神医学, 21:453-463.
- Wing, J. K., Brown, G. W., 1970: Institutionalism and schizophrenia.
Cambridge Univ. Press.
- 山下俊幸, 黒田研二, 平野瓦, 上野光歩, 吉住 昭, 猪俣好正, 小峯和茂,
1996: 外来受診中の精神分裂病患者のリハビリテーション・ニーズに関する
全国調査－対象患者の属性と生活実態－. 精神経誌 98:176-194.
- 築瀬 誠, 2000: 精神障害者の作業所利用目的と就労に対する態度. 職業リ
ハビリテーション, 13:1-9.

- 築瀬 誠, 榎本貞保, 有村 環, 1999a: 通所者の認識する精神障害者共同作業所の役割. 公衆衛生, 63:138-142.
- 築瀬 誠, 榎本貞保, 大坪貴子, 加納恵美子, 笹川純子, 吉田紀子, 1993a: 保健所デイケア通所者の生活時間調査－生活範囲と対人関係を中心に. 保健の科学, 35:881-885.
- 築瀬 誠, 榎本貞保, 米田ゆき子, 佐藤陽彦, 印刷中: 精神科リハビリテーション事業に関する研究－事業所へ提供する情報と事業所の訓練生への対応－. 保健の科学.
- 築瀬 誠, 宮本良三, 榎本貞保, 二田千鶴子, 1993b: 鹿児島県における精神障害者共同作業所の実態. 鹿大医短紀要, 3:71-77.
- 築瀬 誠, 中元理恵子, 榎本貞保, 内匠保子, 1996: 精神病後抑うつを呈した精神分裂病患者に対する作業療法. 作業療法, 15:201-206.
- 築瀬 誠, 中元理恵子, 榎本貞保, 富永秀文, 1995: 鹿児島県における通院精神障害者のリハビリテーション. 公衆衛生, 59:711-715.
- 築瀬 誠, 田中ゆき子, 榎本貞保, 佐藤陽彦, 1999b: 精神分裂病通患者の生活上のニーズと生きがい感－性による違いを中心に－. 作業療法, 18:305-314.
- 湯浅修一, 1979: 精神分裂病者の長期経過について（その1）. 萩野恒一編:精神分裂病の精神病理4. 東京大学出版会.
- 湯浅修一, 1994: 分裂病者の生涯－社会に暮らしている人びと－. 精神科治療学, 9:413-422.
- 全国精神障害者家族会連合会（全家連）, 1987: 精神障害者が利用する作業所の実状と活動の在り方に関する調査研究. 昭和61年度厚生科学報告書.
- Zubin, J., Spring, B., 1977: Vulnerability-a new view of schizophrenia. J. Abnorm. Psychol., 86:103-126.